

# ニュースレター

NO. 4

社教連の最新情報をお届けします

May. 30. 2008

すごしやすい季節となりました。

全国各地でご活躍の皆様は、いかがおすごしでしょうか。

私共事務局は、昨年の4月に新たに事務所を立ち上げてから1年がすぎました。すべての業務に手探りの状態で臨み、前だけを向いて全力疾走の1年でしたが、2年目の今年度は、周りを見る余裕を持って走り続けたいと思っております。北から南まで、社会教育委員の皆様をつなぎ、情報を発信してまいります。今年度も変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

現在厳しい状況にある社会教育委員の皆様のを発揮していただく場を作り、社会教育・社会教育委員を広く社会に認めていただく契機としたいと考え、今年度は助成事業を始めさせていただくこととなりました。

また、秋には第50回全国社会教育研究大会（長野大会）が開催されます。50回という節目の大会となることから、2年前より専門委員会を作り準備を重ねてまいりました。新しい企画も満載の魅力ある大会です。一人でも多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

さらに、50年史として「住民参画による社会教育の展開—社会教育委員のあゆみと展望」と題した書籍を10月に発行する予定です。会員の皆様には1割引きにて予約販売をいたします。ぜひお買い求めいただき、ご活用ください。

今年度も各県・地区の研修会や地区大会に積極的に参加させていただき、会員の皆様と情報を交換し、交流を図ってまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局長 林 洋子

発行 社団法人 全国社会教育委員連合

〒160-0012

東京都新宿区南元町23番地 公立共済四谷ビル

TEL 03 (5368) 8175

Fax 03 (3341) 6071

<http://www.shakyoren.or.jp>

E-mail [staff@shakyoren.or.jp](mailto:staff@shakyoren.or.jp)

## Information

### ○第1回理事会・総会開催

平成20年度第1回の理事会・総会が、5月13日（火）ホテルロジック青山にて開催されました。多数のご出席をいただきまして、御礼申し上げます。議題は次のとおりです。

- ・平成19年度事業報告・決算報告について
- ・平成20年度事業計画（案）・収支予算（案）について
- ・第50回全国社会教育研究大会（長野大会）について
- ・第51回全国社会教育研究大会（熊本大会）について
- ・第52回全国社会教育研究大会について
- ・その他の事項として、助成事業の寄附金について報告

第52回大会は、（社）全国公民館連合会との共催が難しいため、従来の順番どおり、東北地区の福島県での開催をお願いし、福島県の中島会長から、大会をお引き受けする旨ご挨拶がありました。担当していただく県の皆様にはご苦勞をおかけいたしますが、どうぞよろしく願いいたします。

総会において、熊本県の渡邊会長から産地限定のヨーグルトをいただきました。平成21年度の全国社会教育研究大会（熊本大会）に向けて協賛金をいただくため、皆様もご協力いただけると幸いです。

### ○助成事業寄付金について

今年度より助成事業のための寄附金募集を開始します。

1口 2,000円です。

この寄附金は、社会教育委員の組織・団体が企画・実施に関わっている事業・調査研究に助成いたします。

助成事業は、機関誌「社教情報」にて公告し、本人の申請に基づき、毎年度実施いたします。

ご協力よろしく願いいたします。

### ○50年史「住民参画による社会教育の展開—社会教育委員のあゆみと展望—」

平成20年10月上旬に発行予定です。

会員の皆様には、予約価格（1割引き）にて販売いたします。

ご予約お待ちしております。

### ○「全国社会教育委員退任者会」募集中

平成19年11月に立ち上げました「全国社会教育委員退任者会」の募集を開始しております。今回改選で、社会教育委員を退任された方のご入会をお待ちいたしております。

なお賛助会員として、社会教育関係者のご入会も受け付けております。

### ○今後の出版事業の予定

「社教連会報」 No.63 平成20年9月上旬

「社教情報」 No.59 平成20年10月上旬 定価350円（税込み）

### ○機関紙等のご恵贈を！

会員の皆様の活動の様子をご紹介したいと思います。総会資料・会報・研究会資料等がございましたら、事務局あてご恵贈をお願いいたします。

平成19年度に事務局にご恵贈いただいた資料

情報誌 大分県社会教育委員連絡協議会 「波紋」

会報 宮崎県社会教育委員連絡協議会

〃 静岡県社会教育委員連絡協議会

〃 山形県社会教育委員連絡協議会 「わ」

〃 北海道社会教育委員連絡協議会 「道社連協だより」

資料 東大和市教育委員会 「東大和の社会教育」

〃 佐賀県教育庁社会教育課 「佐賀県の生涯学習・社会教育」

〃 福岡県社会教育委員連絡協議会 「社会教育委員の手引き」

〃 札幌市教育委員会 「第2次札幌市生涯学習推進構想」

提言 新潟県社会教育委員の会議

「団塊の世代の力を地域の活性化に生かす方策について」

〃 大阪府社会教育委員会

「府民の社会参加を促進する社会教育行政の在り方」

### ○機関誌「社教情報」好評発売中

「社教情報」57号58号、好評発売中です。

充実した内容で、1冊350円（送料120円）と価格も手頃です。

ぜひ、すべての社会教育委員の皆様にお読みいただきたい1冊です。

また、活動の事例なども、どしどしお寄せください。2000字です。

10月発行予定の59号もご期待ください。

## ○文部科学省のパブリックコメントに意見を提出

「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」（諮問）への答申素案に関する意見について、以下のように（社）全国社会教育委員連合として提出したものです。

### 意見

1. 全体としては、よくまとめられており、評価する
2. 生涯学習振興行政、社会教育行政などの概念整理や考え方はとてもよい
3. 地域教育の整理の仕方と社会教育行政との関わりもよい

その上でいくつかの課題を指摘させていただく。

1. 社会教育委員の社会教育関係団体への補助金の審査機能の記述は、不十分である。共同募金であれ、他の分野の助成金であれ、配分の透明性・公開性が求められており、その方向で改善されていることを考えると、社会教育委員の関与規程は残すべきである。ただし、それが形骸化していることは、厳しく指摘し、改善させるべきである。（社）全国社会教育委員連合では、その事をこの間言ってきた。
2. 社会教育の専門職制度については、別途本格的に論議をする必要がある。本報告で指摘している方向は理解できるが、アウトリーチ型の学習ニーズの掘り起こし機能、学習困難者の発掘とその組織化の機能、学習団体や組織のコーディネート・ネットワーク機能、他の行政が有している学習機能とコーディネート機能等について、より協調して書いた上で、今後本格的に検討する必要性を書いていたきたい。
3. 地域教育の考え方はとてもよいが、それをどのようなシステムで展開するかが見えてこない。市町村で展開しようと思うイメージがわくようなブレークダウンさせた内容にしていただきたい。

## ○平成20年度全国及び地区別社会教育研究大会一覧

全国大会	（長野大会）	10月29日（水）～31日（金）	長野県長野市
北海道地区	（羽幌大会）	10月9日（木）～10日（金）	留萌管内羽幌町
東北地区	（秋田大会）	10月16日（木）～17日（金）	秋田県秋田市
東海北陸地区	（石川大会）	10月16日（木）～17日（金）	石川県加賀市
近畿地区	（大阪大会）	9月4日（木）～5日（金）	大阪府大阪市
中国四国地区	（鳥取大会）	10月9日（木）～10日（金）	鳥取県鳥取市
九州地区	（福岡大会）	11月13日（木）～14日（金）	福岡県福岡市